

リハビリテーション科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	両側同時人工股関節全置換術の入院期間に関与する因子の検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) リハビリテーション医学講座 (職名) 教授 (氏名) 尾川 貴洋
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕 両側同時に人工股関節全置換術を受けた患者さんの手術前の痛みや関節可動域、歩行などの身体的・機能的特徴から、入院期間に影響する因子を調べることで、有効な介入方法を検討することを目的としています。 〔対象となる患者さん〕 2017年4月から2023年3月までに、両側同時人工股関節全置換術を施行された患者さん 〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2027年3月31日 〔利用方法〕 本研究は既存の診療情報を用いて実施するため、研究のために新たに取得する情報はありません。両側同時に人工股関節全置換術を施行された患者さんの入院期間と、手術前の痛みや関節可動域、歩行機能、心理状態を比較し、入院期間に関わる影響を統計学的に検証します。研究の方法に関する資料を入手・閲覧を希望する場合は下記の問い合わせ先にご連絡をお願いいたします。
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：年齢、性別、BMI、栄養状態、手術所見（手術時間、出血量）、身体機能（関節可動域、自覚的な脚長差、歩行能力）、質問紙評価（痛み、股関節機能について）等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】

提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	【非該当】
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は, 2026年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 リハビリテーション部 担当者：(職名) 理学療法士 (氏名) 丹村圭佑 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 36900)